

下北森林管理署	
タイトル	低コスト作業システム現地検討会
実施年月日	平成25年10月30日(水)
実施場所	青森県むつ市脇野沢字二又国有林952い7林小班内
参加者	局署：東北森林管理局、東北森林管理局青森事務所、青森森林管理署、 下北森林管理署 26名 外部：下北流域森林林業活性化センター(共催)、下北地域県民局、 むつ市、青森県森林組合連合会、森林組合、林業事業体等 19名 計 45名
<p>【取組の概要】 下北流域の事業体は、これまでも高性能林業機械の導入など効率化や低コスト化に努めてきているが、他流域に比べ木材の輸送コストが掛かり増しとなる不利な条件にあることから、更なる低コスト化を目指す必要がある。 このため、これまで列状間伐と高性能林業機械との組合せによる効率的な間伐の作業仕組みについて、プロセッサやフォワーダによるデモンストレーションや意見交換を実施している。 平成25年度においては、下北流域森林林業活性化センターとの共催により、民有林関係者や林業事業体を対象に、高性能林業機械(フェラーバンチャザウルスロボ)によるデモンストレーションや意見交換を行うことにより、高性能林業機械の普及促進と低コスト作業システムの推進を図る。</p>	
<p>【取組の成果】 現地でフェラーバンチャザウルスロボによる路網作設のデモンストレーションを行い、立木の伐倒・木寄せと掘削作業を1台で行う様子を見ることで、その作業効率の高さを確認することができた。また切断面を検証したところ、油圧を用いた刃物方式での切断でも材の損傷がほとんど見られないことを確認することができた。</p>	
<p>【出された意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェラーバンチャザウルスロボでの作業を初めて見ることができ、大変参考になった。 ・1台で伐倒しながら道路の作設を行うことができるので、より低コスト化が図れる。 ・切断面はチェーンソーに比べるとやや劣るものの、それほど問題ないレベルだと思う。 ・機械に乗ったまま路網作設の全てを行うことができるので、安全確保にもつながる。 ・伐倒作業などの負担が軽減されることで、若い労働者が参入しやすくなると思う。 	
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入している事業体の意見として、購入当時は刃の取り付け角度などが悪く改良を要したとのことであり、改良すべき点があればメーカーに要望を伝える必要がある。 ・1台で路網作設作業を全て行える反面、1人作業になる危険性も高まることから、作業システムの工夫が必要になる。 	



フェラーバンチャザウルスロボによる
路網作設のデモンストレーション



切断面の検証



フェラーバンチャザウルスロボの説明



刃の取付角度等についての検証



意見交換の様子



東北森林管理局次長からの講評